

<討議内容>

日 時:令和2年12月18日(金)

場 所:白山台放課後等デイサービスみゆ～みゆ～指導訓練室にて

出席者:放課後等デイサービス部 全スタッフ

内 容

職員による評価	令和2年11月1日～令和2年11月15日
保護者による評価	令和2年11月15日～令和2年12月7日
事業所全体による評価	令和2年12月14日～令和2年12月18日

評価期間を設け、みゆ～みゆ～スタッフで討議を行う。

●環境・体制整備

2「職員の配置数や専門性は適切であるか」…「わからない」が3名

⇒年度初めに当所に関わる職員の写真と役職(取得資格)の保護者へ配布する。新しい職員が入るごとに紹介の、お知らせを配布する。

●適切な支援の提供

5「活動プログラム固定化しないよう工夫されているか」…「どちらともいえない」1名

「わからない」2名

⇒基本個別支援計画に基づいて、その手立ての一つとして学習、療育、事業所外活動を行っている。平日、どうしても下校時間が遅い児童生徒に関しては、さらなる工夫が必要と感じている。

6「放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか」…「どちらともいえない」3名、「わからない」11名

⇒前年度もこの項目に対する評価が低く出ている。今回はコロナの影響で、活動の制限があったため、難しさはあった。コロナが収束した際には、障がいのない子どもとの交流も検討していきたい。

●保護者への説明等

10「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか」…「どちらともいえない」5名、「いいえ」1名、「わからない」12名

⇒前年度もこの項目に対する評価が低く出ている。これに関してもコロナの影響で開催できない状況であった。人数の制限をしながら参観週間を設けた。夏休み中実施。朝の会の様子、日頃の学習療育時間、余暇時間を見て頂き、多くのご意見を頂き、我々の研修材料に繋がった。一方で、家庭で出来ることへのアドバイスにもなった。

11「子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか」

…「わからない」4名

⇒利用契約時に苦情体制について、重要事項説明書で説明するだけであったため、これ

に関しては年度初めに職員の紹介とともに、苦情体制について配布することとする。

12「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」

…「わからない」1名

⇒連絡帳、面談を通じてしっかりと保護者の話に耳を傾けていきたい。

13「定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発進しているか」

…「わからない」2名

⇒定期的な会報に関しては個人情報の保護という観点から、とりわけ実施していない。

ケース記録において毎日の活動内容についてお知らせをしている。自己評価の結果もホームページ公表、事業所内に掲示、全保護者へお知らせしている。

14「個人情報に十分注意しているか」…「いいえ」1名

⇒個人情報に関しては、厳重に行っているつもりだが、連絡帳配布ミスなど、我々が気づかない部分で緩い部分があると思うので、全職員で確実に確認をしながら取り組んでいきたいと思う。

●非常時等の対応

16「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」

…「わからない」2名

⇒毎月避難訓練を実施している。状況に応じた訓練、咄嗟の場合の対応なども含めどういった訓練をしているかを、保護者へお知らせしていきたい。

プラス面 強み(Strength)

- ・スヌーズレンルーム
- ・ホール(体を動かす場所)
- ・パーソナルスペースの広さ
- ・多種多様の事業での体験実習が可能(就労プログラム)
- ・ベテランスタッフ(経験者)、未経験者でも人柄が良く、仕事、支援に対する意識が非常に高い人材がそろっている。
- ・日々、子どもは変化し、支援の方法にも動きがあることを理解し、経験値だけを押し付けるのではなく職員も日々学ぼうとする姿勢がある。

マイナス面 弱み(Weakness)

- ・非常にいい案、企画を持っているスタッフが多い、伺いは必要だが、もっともっとトップダウンではなく、ボトムアップを目指したい。
- ・絶対ということはない。押し付けない。決めつけない。療育も常に進化し、変化していることを強くもつこと。
- ・謙虚さ、学ぶ姿勢を忘れないようにすること。
- ・もっともっと丁寧な対応を心掛けること。
- ・コロナ収束した際の活動の幅を広げられるように検討していくこと。

来年度の目標(改善点)

- ・年度初め、苦情解決の体制、職員配置に関して保護者へ通知していく。
- ・全てにおいて丁寧な説明、お知らせを図っていくこと。
- ・保護者間の情報の共有に関しては、昨年も改善目標の項目であった。今年はコロナということもあり、開催が難しかったが、保護者からの要望も多いため、今後どのような体制で開催していくかを検討し実施していきたい。
- ・コロナ禍ということで、活動の制限はあったが、社会資源を利用した活動内容、就労プログラムの充実化を図っていきたい。